

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
事業実施報告書

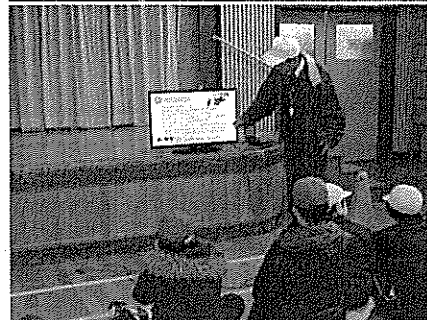
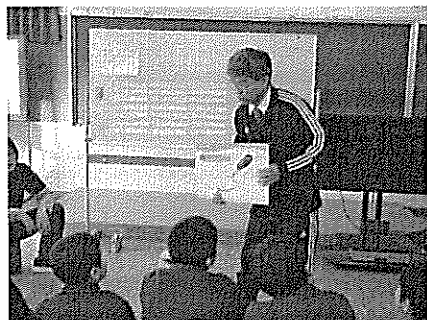
- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【福島県・福島市】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	福島市立福島養護学校 小学部4～6年生 11名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育) ② 行事名 (パラリンピックって何だろう?) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	○ 2020年東京パラリンピック競技大会の開催に向けて、実施種目を知ったり、実際に取り組んだりすることができる。 ○ スポーツの楽しさを知ると共に、日本以外の国や文化についても興味関心をもつことができる。
5 取組内容	【パラリンピックって何だろう】1月12日(金) ○パラリンピックについて知る。 ・教材のDVDを視聴し、パラリンピックとは何か、その概要を知る。 ・2020年パラリンピックが東京で開催されることを知る。 ○パラリンピックの競技種目について知る。 ・フリップボードのクイズから種目を通して知る。 ・視聴した内容と合わせて種目を確認する。 ○多くの種目の中から「ゴールボール」を取り上げ、ルールの概要を知る。 ・教材のDVDを視聴し、どんな種目か大凡の内容を知る。 ・競技用公式球に触り、手触りを確かめたりボール内の鈴の音を聞いたりして競技への関心や意欲をもつ。 ・試技として代表児童と教師で実際にシュート及びその防御を体験する。 【パラリンピックの種目の体験】1月17日(水) ○3チームに分かれて「ゴールボール」のゲームを体験する。 ・「ゴールボール」を行っている様子(教材DVD)を視聴する。 ・実際のルールやこれから行う場合のルールについて確認する。 ・3チームに編成し、手足中心に簡単な準備運動を行う。 ・Aチーム3人、Bチーム3人、Cチーム4人でそれぞれのポジションを決め総当たり(1試合5分程度)でゲームを行う。 ・ゲームの無いチームは、サイドで応援をしたり得点板の点数をめくったりする。 ○本時の学習を振り返り、感想を共有したり教師の話の聞いたりする。
6 主な成果	○ 昨年度行われたリオデジャネイロパラリンピックの様子を視聴したり、クイズ等で考えたりする中で、新しく種目を知ると共に、既知の種目についても関心をもったり理解をより深めたりすることができた。 ○ 「ゴールボール」に実際に取り組む学習を通して、視覚障害の状態を体験したり、音を頼りにしたゲームの楽しさや難しさを体験し

たりすることができた。また、パラリンピック競技の楽しさも多少なりとも味わうことができた。

- 「ゴールボール」を行うに当たっては、実際に競技用公式球を用い、第1時に実際のボールを触ったり持ち上げたり音を聞いたりして体感することで、ゲームをやってみたいという意欲付けとなった。



7 実践において工夫した点
(事業の特色)

- 配当予算の中で、「ゴールボール」の公式球を購入した。視聴したリオデジャネイロパラリンピックのゲームで使用されたボールと同じ物を触ったりそれを使いゲームをしたりしたことは、子ども達に学習への関心を持たせ、活動意欲を向上させるのに有効であった。
- 1時目で「ゴールボール」の簡単なルールを示すと共に代表児童と教師で短時間ではあるが演示した。実際にボールを投げる、足や手でゴールを防ぐといった様子を見られたことで、2時目のゲームへの関心や自分もやってみたい、楽しみたいという意欲付けにつなげることができた。

8 主な課題等

- 知的領域の特別支援学校(養護学校)という児童の実態上、個々の興味関心や身体能力等の個人差が大きい。児童の実態や興味関心を細かく把握していく必要がある。
- 同一時間内の授業、同じ教材を用いての学習活動の中で、ルールに難易度を付けるなどして個人差をどうかカバーするか、また、内容の理解について個々に何処までを求めるか(個々の目標をどうたてるか)を検討していく必要がある。
- I~Vまでの実践テーマの中で、本校ですぐに実践可能なテーマはVであるが、その他I~IVに関しては、内容を深く取り上げたり教材を選定し授業実践したりするには難しい面が多々ある。

9 来年度以降の実施予定

- 今年度は7月以降に依頼が入ってきたので、本来の年間計画にはなく、本来10月以降には実施されない体育の時数で実施した。来年度も事業が展開される予定とのことなので、来年度年間計画の中に、適宜学期に1~2回程度入れ、計画的に実施して行く予定である。
- 今年度実施の内容をベースに、外国の国についての文化を知り国際理解を深めると共に、「ゴールボール」を行ったり、他の種目を体験したりする中で、スポーツを楽しみながらパラリンピックへの関心を高めたい。
- 学習の内容や条件、日程等が整えば、中学部と合同で実施することも考えられる。

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県・福島市 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	福島市立福島養護学校 中学部1～3年 21名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教科名 (保健体育) ② 行事名 (合同スポーツ大会) (合同卓球・ボッチャ大会) ③ その他 () <p>(2) 地域における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① イベント名 (特別非常勤講師派遣事業) ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学部生徒が様々なスポーツに親しみ、興味を持って安全に取り組むことができるようにする。 ○ 中学部生徒が専門的な指導を受けて個々の技術の向上を目指し、合同スポーツ大会や簡易卓球・ボッチャ大会などの行事で目的意識を持ちながら意欲的に参加することができるようにする。 ○ 中学部教職員が、指導員より専門的な指導を受けることにより、生徒の技術向上のための指導技術を身につけることができる。
5 取組内容	<p>1. フライングディスク・ボッチャの実技指導（講習会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講習内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ リラックスを促したりコミュニケーションをとったりするためのレクリエーションについて ・ 個々に合ったフォームの身につけ方について ・ 得点する方法や競技のルール理解について ○ 講義 <ul style="list-style-type: none"> ・ 身体の使い方や姿勢から分かる筋肉の使い方について ○ 主にフライングディスクの実技指導 <ul style="list-style-type: none"> ・ ディスクの正しい持ち方や腕の使い方について ・ 身体の向きや重心について <p>2. 合同スポーツ大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 競技種目 <ul style="list-style-type: none"> ・ フライングディスクとボッチャ



	<p>3. 合同卓球・ボッチャ大会</p> <p>○ 競技種目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 簡易卓球（転がし卓球） ・ ボッチャ（本校生徒のみ出場）
<p>6 主な成果</p>	<p>1. フライングディスク・ボッチャの実技指導（講習会）</p> <p>○ 利き手の人差し指をディスクの側面にかけることなど、丁寧な指導のおかげでディスクのぶれが少なくなり、フォームが安定する生徒が増えてきた。</p> <p>○ ディスクを投げた後にリングを指さすことで、狙った的の近くに投げられるようになった生徒が増えてきた。</p>  <p>2. 合同スポーツ大会、合同卓球・ボッチャ大会</p> <p>○ 普段と違った環境でスポーツに親しみ、称賛されることで楽しみながら意欲が湧く活動となった。</p> 
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<p>1. フライングディスク・ボッチャの実技指導（講習会）</p> <p>○ 毎年10月に国体記念体育館で福島地区特別支援教育研究会主催による福島地区中学校特別支援学級・特別支援学校対象とした合同スポーツ大会が開催される。競技スポーツへの参加ということで大会での上位入賞や子どもたちが達成感・成就感を持つことができるように、合同体育で指導したり、教員同士の役割分担を明確にするなど、指導方法を工夫した</p> <p>2. 合同スポーツ大会</p> <p>○ 講習会や授業内での練習から大会へのつながりが持てるように大会と同じような内容で授業を進めた。その結果、大会当日はリラックスして取り組むことができた。</p>

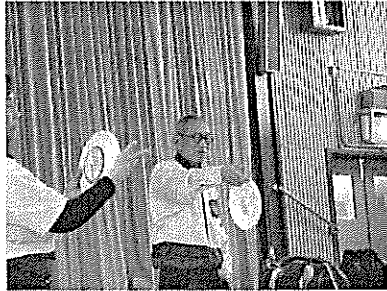

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【福島県・福島市】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	福島市立福島養護学校 高等部Ⅰコース1・2・3年 41名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (保健体育)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	○ 高等部生徒が、専門的な指導を受けて様々な競技に親しむことで、スポーツを楽しむ心を育み、スポーツに対する興味・関心を高める。
5 取組内容	<p>【10月17日(火)】</p> <p>○ 110m ハードル走の福島県記録保持者である講師の先生をお招きし、陸上競技の短距離走の授業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 講師：福島県立相馬農業高等学校 教諭 菊池徹郎 様 <p>○ 主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 楽しみながらできるストレッチ 体づくりの要素を取り入れたウォーミングアップ マーカーを使い「はずむ」ことを意識したドリル リレー形式でのまとめ（競争を楽しむ） <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>【11月21日(火)】</p> <p>○ 福島県フライングディスク協会の方々をお招きし、実技講習会を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 講師：福島県フライングディスク協会

	<p>○ 主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ディスクの正しい持ち方 ・ 投げる際の正しい姿勢 ・ 正しい投げ方（フォロースルーまで） ・ 実際の形式で練習 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>6 主な成果</p>	<p>○ 運動の得意・不得意に関係なく、誰もが取り組みやすい指導内容だったため、生徒たちがそれぞれのスポーツを楽しんで取り組むことができた。（授業後の感想より）</p> <p>○ 専門的な指導は、生徒たちの技術向上につながり、来年度のスポーツ大会への参加意欲をさらに促すことができた。</p>
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<p>○ 本校生徒が特別支援スポーツ大会で参加する種目との関連性を考慮して、より興味・関心が高まり、技術・体力面を高められるような単元を設定した。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○ 本校のグラウンドや体育館が狭いため、実際の競技場を借用するなど指導がしやすい場の設定が必要である。</p> <p>○ 予算をより早期に計画的に活用し、本事業のために必要な用具等を購入すること。</p> <p>○ 年度当初から教育計画に組み込むことができ、実施できるような計画的な事業展開を望む。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○ 今年度と同様、外部講師の先生をお招きし、授業を実施したい。実施種目は、陸上競技を継続して行うか、ボッチャや車椅子バスケットなど、パラリンピックの種目を行う。</p>